【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名(三重県立松阪高等学校通信制)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		生徒一人ひとりの学びを支援し、生徒・保護者・地域から信頼される通信制高校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	○校訓である「自主自律」の精神を持ち、自学自習を通して、自ら学び、自ら考え、自ら行動できる人 ○校章に象徴される「知・徳・体」の調和のとれた全人的な発達を図り、それぞれの立場で地域社会に貢献できる人 ○心豊かな人間性に立脚した「志」を持ち、高い目標を掲げて意欲的に挑戦する人
	ありたい教職員の姿	○面接指導(スクーリング)をはじめ、添削指導や日常の支援体制等を研究し、生徒の学習習慣の確立と学力向上に向けた取組を続ける教職員 ○さまざまな入学動機や学習歴を持つ生徒や、特別な教育的支援を必要とする生徒の現状やニーズを把握し、生徒一人ひとりの実態に応じて、伴走して支援を行う教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p>〈生徒〉 柔軟な学びのスタイルで、希望進路実現のための学力と卒業資格を得ること</p> <p>〈保護者〉 子どもが基礎学力を身につけ、希望進路を実現するとともに、通信制での学びである自学自習をとおして生きる力を身につけること</p>	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
		<p>〈家庭〉情報の配信</p> <p>〈中学校〉不登校経験者への学びの支援、基礎学力の定着と向上</p> <p>〈高等学校〉学び直しの場、進路変更者への支援</p>	<p>〈家庭〉通信制での学びへの理解と協力、家庭での支援</p> <p>〈中学校〉個々の生徒の情報共有、通信制での学びへの理解</p> <p>〈高等学校〉転学における生徒情報等の連携、通信制での学びへの理解</p>
(3)前年度の学校関係者評価など		<p>・さまざまな入学動機を持つ生徒の学び直しの場として、今後も一人ひとりに寄り添った支援が必要である。</p> <p>・学校が自分の居場所と感じられるように、誰もが安心して学べる環境を整えていくことが必要である。</p> <p>・単位修得率、卒業率を向上させるとともに、在籍期間が長い不活動生への対応を検討しなければならない。</p>	
(4)現状と課題	教育活動	<p>・面接指導(スクーリング)をはじめ、添削指導や日常の支援体制等を研究し、生徒の学習習慣の確立と学力向上に向けた取組を続ける必要がある。</p> <p>・心身に課題を抱えた生徒も多いことから、命を大切にする心を育む姿勢を育て、一人ひとりの目標達成に向けた支援を行っていく必要がある。</p>	
	学校運営等	<p>・通信制での学びを必要とする人に情報が行き届くよう、中学校・高校・地域社会等へ多様な方法により、通信制の学びについて周知していく必要がある。</p> <p>・在籍期間が長い不活動生が増加し、在籍管理が難しくなっている。</p>	

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動</p> <p>【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが学ぶ喜びを実感し、安心して学校生活を送り、学習を効果的に進められるよう、教育環境の整備や教育内容・支援方法の工夫改善を進めるとともに、キャリア教育の充実に努め、生徒への支援を効果的に行います。 ・生徒の実態や教育的ニーズ等を把握し、学習や生活上で困難を有する生徒が適切な指導や支援を受けられるよう、継続的な改善活動に組織的に取り組みます。 ・ICTの効果的な活用等、今後の通信制教育のあり方について、研究を進めます。
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校や他の高等学校、保護者、地域に向けて、通信制での学びへの理解を図ります。 ・前籍校や関係機関との連携および情報共有に努め、きめ細やかな指導を行うなど、適切な支援を進めます。 ・ワークライフバランスを重視し、会議や研修の精選、校務内容の見直し等を行い、業務の効率化や働きやすい職場環境づくりに取り組みます。

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信制での学びに意欲をもって取り組める生徒 ・将来の夢を描き、実現させようと努力する生徒
--	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導	<p>(1)レポートに取り組みやすい環境の充実</p> <p>【活動指標】 対面指導および ICT を活用した多様な指導の充実と、学校外における個別支援(より道 SS)の実施</p> <p>【成果指標】 指導回数およびレポート合格者の増加</p> <p>(2)面接指導の充実</p> <p>【活動指標】 十分な開講時間数の確保および適切な面接指導</p> <p>【成果指標】 必要面接時数完了者の増加</p> <p>(3)テスト後指導の充実</p> <p>【活動指標】 学習の振り返りに適した採点の充実</p> <p>【成果指標】 テスト合格者の増加</p>		◎
生徒指導	<p>生徒会と連携した環境美化行動</p> <p>【活動指標】 生徒集会での啓発とともに、生徒会と協力した環境美化の取組の実施</p> <p>【成果指標】 より多くの生徒による清掃活動・美化活動の実施および生活マナーの向上</p>		

キャリア教育	<p>(1)進路を主体的に考える意識づくりを通じた学習意欲の喚起 【活動指標】 進学ガイダンス、就職ガイダンス、進路別ガイダンス、進路だより、受験対策講座等の充実 【成果指標】 生徒一人ひとりの進路意識の喚起および学習意欲の向上</p> <p>(2)進路調査の実施による生徒の進路意識の把握 【活動指標】 進路調査の実施と進路指導への適切な活用 【成果指標】 正確な実態把握に基づく充実した進路指導</p> <p>(3)総合的な探究の時間「進路探究コース」の取組 【活動指標】 担任と「進路探究コース」担当者の連携 【成果指標】 「進路探究コース」選択者の進路意識の向上</p>		
改善課題			

(2)学校運営等

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。
【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。
【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教科指導	<p>(1)生徒の学習の質を高める教材および教法の研究 【活動指標】 レポート添削例の蓄積と共有 【成果指標】 フォルダ内への保存ファイルの充実</p> <p>(2)転編入生がスムーズに学習を進めるための受講計画の指導 【活動指標】 多様な科目登録形態に対応できる時間割の編成 【成果指標】 転編入生の前歴および進路に応じた単位修得の実現</p> <p>(3)テスト問題の妥当性と採点の信頼性の確保 【活動指標】 各回3種類の問題作成と答案の電子データ保存 【成果指標】 テストの信頼性向上および公平性の確保</p>		◎
生徒指導	<p>(1)校内巡視による授業規律の確保および環境美化を通しての学習環境整備 【活動指標】 毎時間および朝夕の校舎内外の巡視の継続 【成果指標】 落ち着いた学習環境と、美化の徹底</p> <p>(2)職員のカウンセリング能力等の向上 【活動指標】 生徒理解に資する研修会の実施、教育相談だよりの発行 【成果指標】 担任会で教育相談に係る生徒情報の共有回数の増加</p>		

キャリア教育	担任と進路担当の連携による、生徒一人ひとりに応じた進路希望の実現 【活動指標】担任と進路担当との情報共有の強化 【成果指標】進路希望未定の生徒の減少		
保護者等との連携	機関誌「松高通信」の活用を通しての保護者との協力関係の構築 【活動指標】「松高通信」の年3回発行 【成果指標】保護者との双方向性の向上		
職場環境	ワークライフバランスを重視した業務の効率化と働きやすい職場環境づくり 【活動指標】 ・定時退校 各人週3日以上 ・60分以内に終了した会議の割合 90%以上 【成果指標】 ・時間外在校等時間が年 360 時間を超える教職員数 0人 ・時間外在校等時間が月 45 時間を超える教職員の延べ人数 0人 ・1人当たりの月平均時間外在校等時間 10 時間以下 ・1人当たりの年間休暇取得日数 15 日以上		
改善課題			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	
---------------------	--

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	
学校運営についての改善策	